

学校長あいさつ



本校のホームページを御覧いただき、ありがとうございます。

本校は、沖縄本島中部地区の北中城村に在り、今年で学校創立100周年を迎えます。

1924(大正13)年4月、鹿児島県出身の田代清雄氏が私財を投じて、那覇市若狭町に創設した「沖縄聾啞学校」によって本校の歴史は始まりました。その後盲学校と併設の「盲聾啞学校」時代や太平洋戦争、沖縄戦による教育の中断、アメリカ統治下での再開等の変遷を経て、そして本土復帰前後からは本県の聴覚障害教育の歩みにおいて特徴的な時期でもあった“風疹児教育”を「北城ろう学校」と担い、単一学年のみであった同校の廃校後、昭和59年10月に那覇市より同校の校地・校舎であった現在地の沖縄県北中城村字屋宜原415番地に移転し、平成26年には校舎改築をして、今に至っております。

さて、本校は、聴覚に障害のある幼児児童生徒の持てる力を最大限に伸ばして、生きる力(自ら学ぶ意欲と社会に主体的に関わる力)を育み、社会的・生活的・職業的に自立して社会参加できること、社会に貢献できることを目指して教育活動を進めています。

幼児児童生徒が、保有する聴力を活用し、手話や視覚的情報保障のある学習環境のもとで、「生きる力」の基盤となる確かな学力と日常生活・社会生活を支える言語力・コミュニケーション力を育てています。そして、学校での教育活動だけでなく、校外での体験的学習はもとより、地域や学校間、居住地、沖縄以外の聾学校との交流および共同学習と、多様な学び合いの場を設定し、変化する時代に対応するための基礎的・基本的資質・能力を育み、ひとりひとりが心に抱く夢を実現できるよう様々な活動に取り組んでいます。

また、聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図り、ろう学校での体験授業や「聞こえとことばの学習」、関係者や先生方への研修の充実等による地域に対する情報発信や、乳幼児等の保護者も含めた相談支援にも積極的に取り組んでいます。

沖縄県内唯一の聴覚障害教育校として、子ども達が、校訓の「健やかな体、強い心、豊かなことば」を身につけ、自立し社会参加できるよう、職員一同、心を一つにして日々教育活動の充実に努めてまいります。保護者、地域、関係機関の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年4月

沖縄県立沖縄ろう学校

校長 稲田 政博